

令和二年三月吉日

祝 辞

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。皆さんに直接お祝いの言葉を届けられなかったことを本当に残念に思います。卒業生の皆さんはそれぞれの場所で、特別な想いを持って、この日を迎えていることかと思えます。

中学部の皆さんが学習発表会で歌った『手紙 ～拝啓 15 の君へ～』を思い出しながら、雪が舞う札幌でこの手紙を書いています。

北海道では、鈴木直道知事が全国に先駆けて小中学校の休校を要請したことは皆さんもよく知っていると思います。この鈴木知事は、今、中国をはじめ世界各国からすごく注目されているそうです。鈴木知事は、「自分の立場でできることを全力でやり、責任は自分がとる」と言い切りました。大変な時だからこそ、人の悪口を言わず、文句も言わず、相手のことを思いやり、自分がやるべきことをやる。そういう姿が日本だけでなく世界中の人からも評価されているのだと思います。

広州日本人学校を卒業する皆さんは、中国の文化に直接触れ、海外で暮らすという貴重な経験を持った人たちです。地下鉄でみんながお年寄りや小さな子どもに席をゆずりあうところ、日本より便利で進んでいるところ、街を歩いている人がとにかく明るく楽しそうなおところ。親切に声をかけてくれる人が多いこと。皆さん自身が感じたことが全てです。

学習発表会で、小学部卒業生の皆さん一人ひとりが聞かせてくれた将来の夢。どれも素敵な夢で、とてもワクワクしながら聞かせてもらいました。その中で多くの人が「世界で活躍する」という言葉を使って発表していたことが心に残っています。4月からはじまる、中学生生活の中で、さらに「どんな風で世界で活躍するのか」について深めていけるといいですね。

これからの時代を支えるのは皆さんです。皆さんが新しい価値観を作り、次の時代のリーダーとなります。人は大変な時、困っている時に、助けてくれた人、手を差し伸べてくれた人の事を忘れることはありません。違う考えを持った人を受け入れ、相手の失敗を許せる人になってください。そして他の国の人や歳の離れた仲間とも一緒に大きな未来をつくってってください。

また、喜屋武校長先生をはじめ教職員の皆様には、情熱いっぱいのご指導をいただき、本当にありがとうございました。そして、広州日本商工会の皆様、日本人学校理事の皆様、在広州総領事館の皆様には多くのご支援を頂き心より感謝申し上げます。

最後に、卒業生の皆さん、保護者の皆様ご卒業本当におめでとうございます。

未来は何が起こるか分からない。だからこそ前に進んで何があるか見てみたいんだ。

拝啓 この手紙 読んでいるあなたが 幸せな事を願います

令和元年度広州日本人学校 PTA 会長 渡辺健太